

安全データシート 尿 素

1. 製品（物質または混合物）および会社情報

関連する成品名（成分名）

尿 素

会社名	大洋製薬株式会社
住 所	〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-16
担当部門	お客様電話相談窓口
緊急時の電話番号	03-3818-4328
推奨用途と使用上の制限	自家製化粧品原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類	対象外
注意書き	
安全対策	子供の手の届かないところに置くこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
応急措置	飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。 皮膚に付着した場合：大量の水と石鹼で洗うこと。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。 眼に入った場合：清浄な水で最低15分間は目を注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。 皮膚刺激又は発赤が生じた場合：水で洗い流した後、水と石鹼で皮膚を洗浄する。
保 管	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。 強酸化剤、亜硝酸塩、無機塩化物、亜塩素酸塩及び過塩素酸塩から離して保管する。
廃 棄	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

3. 組成および成分情報（物質または混合物）

物質

化学的特定名	尿 素
別名	Carbamide, Carbonyldiamide
英語名	Urea
分子式（分子量）	CH ₄ N ₂ O（60.06）
C A S 番号	57-13-6
化審法官法公示整理番号	(2)-1732
国連番号	1043／2.2
クラス／区分	2／2.2
E C 番号	200-315-5

4. 応急措置

飲み込んだ場合：	気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合：	大量の水と石鹼で洗うこと。
吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
眼に入った場合：	清浄な水で最低 15 分間は目を注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：	医師の診察/手当を受けること。
皮膚刺激又は発赤が： 生じた場合	水で洗い流した後、水と石鹼で皮膚を洗浄する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、水噴霧、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。
使ってはならない消火剤：	棒状注水
本品による危険性：	不燃性。火災時に、刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出する。
特有の消化方法：	安全に対処できるならば着火源及び容器を除去すること。
消火を行う者の保護：	関係者以外の立ち入りを禁止し、保護衣を着用して風上から作業する。

6. 漏出時の措置

緊急措置：	関係者以外の立ち入りを禁止する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 すべての着火源を取除く。
保護具および緊急時措置：	(8. 暴露防止および人に対する保護措置)を参照する。
環境に対する予防措置：	漏洩物を環境中に放出してはならない。
封じ込めおよび浄化方法と機材：	漏洩物を蓋つきの容器にできる限り集める。 湿らせても良い場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。 地域規則に従って、保管・処理を実施する。
二次災害の防止策：	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置：	子供の手の届かないところに置くこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
混触危険物質等安全な保管場所：	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。 強酸化剤、亜硝酸塩、無機塩化物、亜塩素酸塩及び過塩素酸塩から離して保管する。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度：	設定されていない。
手の保護具：	設定されていない。
眼の保護具：	設定されていない。
皮膚および身体の保護具：	設定されていない。
衛生対策：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

外観（物理的状态、色など）： 無色から白色の結晶柱状又は粉末
臭い： わずかなアンモニア臭
融点： 132.7℃
密度： 1,323 g/mL (20℃)
溶解度： 水への溶解度 545g/L(25℃)、アルコール・グリセロールに可溶
n-オクタノール／水分配係数：20～25℃で－1.59（実験値）

10. 安定性および反応性

反応性： 法規制に従った保管条件のもとで保管する場合、本品は安定である。
化学的安定性： 融点以上に加熱すると分解する。
危険有害反応の可能性： 強酸化剤、亜硝酸塩、無機塩化物、亜塩素酸塩および過塩素酸塩と反応する。火災や爆発の危険を生じる。
避けるべき条件： 裸火、熱、その他発火源
混触危険物質： 強酸化剤、亜硝酸塩、無機塩化物、亜塩素酸塩および過塩素酸塩
危険有害性のある分解生成物： 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	痙攣、頭痛、吐き気、嘔吐
急性毒性（経皮）	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
皮膚腐食性/刺激性	軽度の皮膚刺激のおそれ 尿素は閉塞下で蛋白質変性効果の増加により皮膚刺激を起こすおそれがある。 (EPA toxicological review of urea July 2011)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	充血等の眼刺激
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生体毒性	データなし
残留性・分解性	良好 排水処理場並びに地表水中と土壤中で速やかに分解される。 微生物に対する毒性が低く環境に害を及ぼす物質ではない。
生体蓄積性	データなし
土壌中への移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化などの処理を行なって、危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行なっている場合はそこに委託して処理する。

汚 染 容 器： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

1 4 . 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報： I M O 非該当
航空規制情報： I C A O ・ I A T A 非該当
国連分類： 非該当
国連番号： 非該当

特別な安全対策

容器の破損、腐食、漏れ等がないこと。
転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
特に、高温多湿または直射日光に曝される場所に長時間放置しないこと。

1 5 . 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）

1 6 . その他の情報

参考情報

- | |
|---|
| 1) 経済産業省ウェブサイト 化学物質関連データベース
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/db.html |
| 2) N I T E 化学物質総合情報提供システム
独立行政法人 製品評価技術基盤機構
N I T E - C H R I P (NITE Chemical Risk Information Platform)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop |
| 3) 化管法 (JIS77253) 経済産業省ホームページ 化管法 S D S 標準的な書式
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/msds/msds62.html |

記載内容お取扱いの注意

この資料は 2 0 1 7 年に国際連合が作成した「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）第 7 版」に準拠して作成しておりますが、全ての情報を網羅しているものではなく、又、記載しております注意事項は当該製品の安全な取扱いを提供することを目的としたものであり、安全性等の保証をなすものではありません。